

2024年度 新潟県栄養士会 第6回生涯教育アンケート集計結果

○実施期間： 2024年 11月21日（木）～11月27日（水）

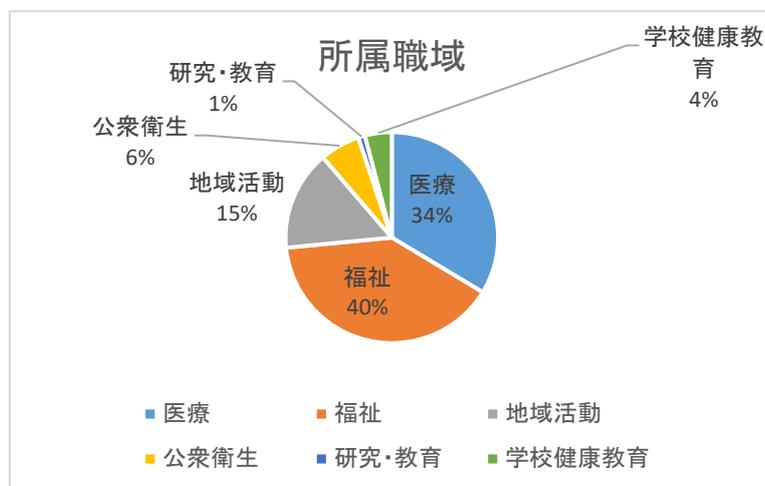
○開催方法： オンデマンド開催

○内容： 「身体のサインを見逃さない!!
～高齢者の栄養管理に必要なフィジカルアセスメント～」

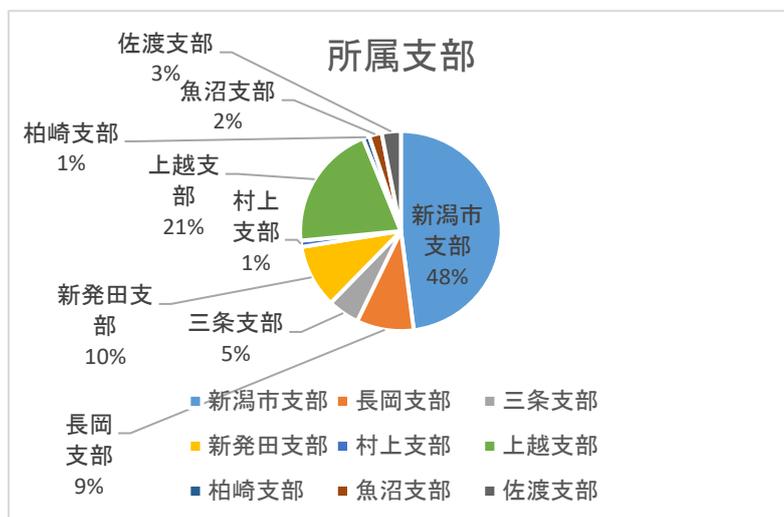
○講師： ちゅうざん病院 副院長 金城大学客員教授
吉田 貞夫 先生

○参加者数：180名 再生回数：336回 アンケート回答数：98名

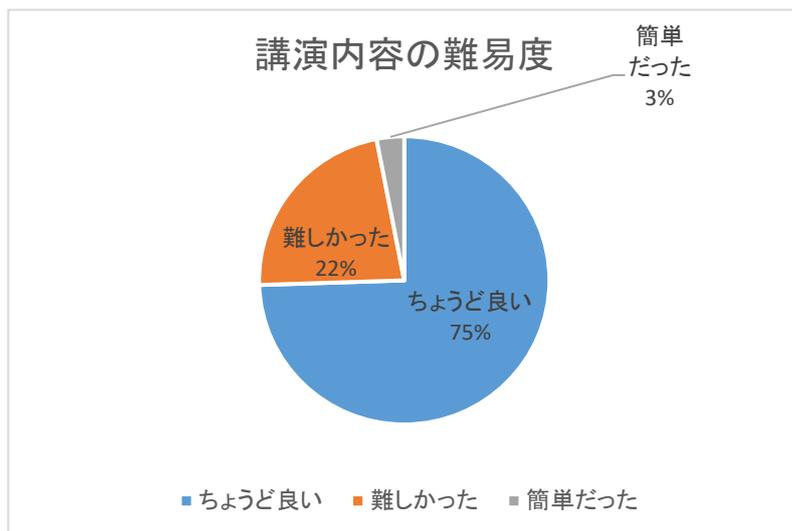
○所属職域



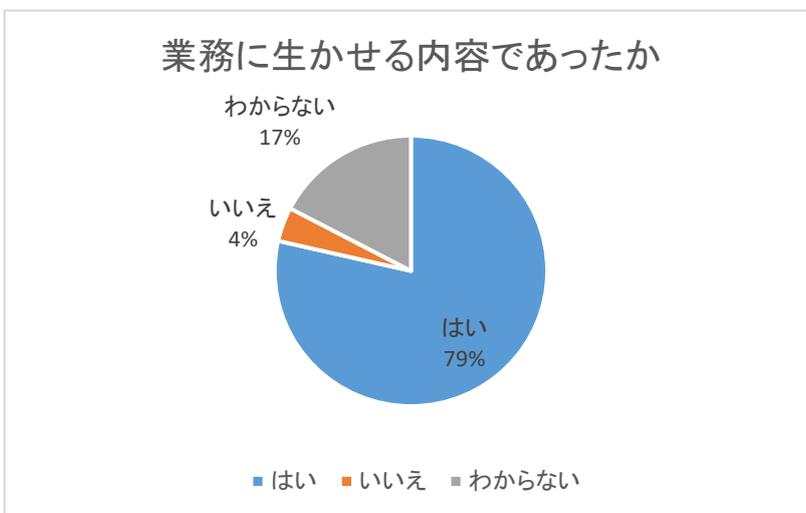
○所属支部



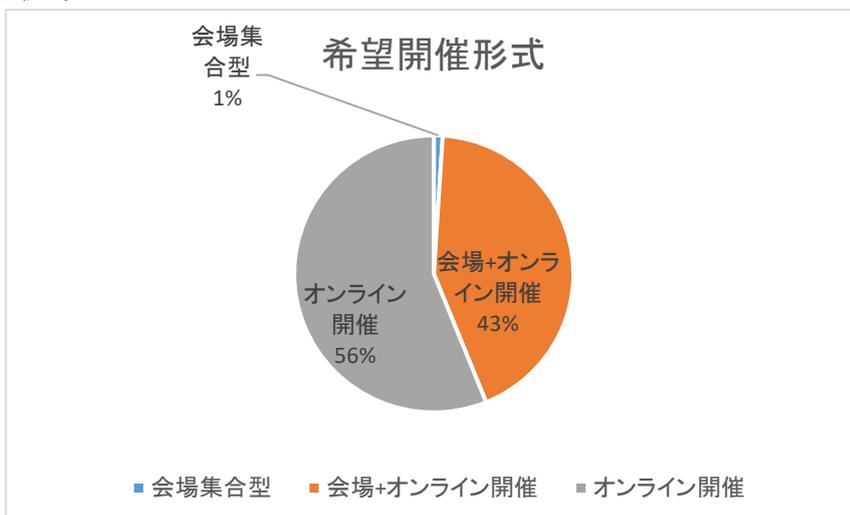
○講演内容の難易度



○業務に生かせる内容であったか



○希望開催形式



○講演内容に対する感想など

- ・終盤のお話をもっと詳しく知りたかったです。
- ・今回のテーマ以外にも、シスタチンCなどの最新の研究内容について触れて頂き、興味深かったです。先生の書籍も気になったので早速調べてみます。
- ・日々の業務に役立つ内容で学びが深まりました。
- ・フィジカルアセスメントの講義はなかなか聞くことが出来ないのが貴重なお話でした。後半話の展開が早く、聞けなかった部分もあり残念でした。動画配信なので、多少時間がのびても良かったのではないかと思います。
- ・フィジカルアセスメントの概要がわかったが、最後が駆け足になったことが残念だった。
- ・日頃疑問に思っていたことや確認しづらいことをご教授いただき大変勉強になりました。
- ・勉強不足で理解が追いつかずでしたが、先生のお話されたことをできたら、栄養士としてご利用者への関わりがより深くできるのだと勉強になりました。
- ・観察することの大切さがわかった
- ・アセスメント方法について学ぶことができました。普段取り入れられるかは難しいですが…。吉田先生の説明はユーモアもあってわかりやすいです。
- ・対象者の観察のポイントを詳しく教えていただけて楽しく勉強できました。触れ方、聴診の音、変化の読み取り方など、オンラインでもとても臨場感のある講義でした。
- ・糖尿病等最後の部分の内容を聴講したかった。時間がなくて残念だった。
- ・フィジカルアセスメントを行ったことはないが、今回の講義を聞いて具体的なことがわかりよかった。即実践は難しいが知識を得てよかった。毎回、先生の具体的でわかりやすい講演を楽しみにしているし、元気がでます。書籍もわかりやすく理解しやすいので活用してみたいと思った。
- ・講義終盤のGLIM基準についてももう少し丁寧に説明してほしいかった。
- ・仕事にすぐに関係しないが、身近な親世代のことを思い浮かべながら学ぶことができた。
- ・たいへん勉強になりました。ありがとうございました。GLIMの綴りも翻訳の方法もわかりました。家庭等でも早期発見に役立てていきたいと思います。
- ・通常のアセスメントの話より詳しく、かつ最新の話まであり、先生の講演はいつ聞いても興味深く楽しめます
- ・アセスメントの方法について、詳細かつ解り易い説明で非常に有意義な内容であった。
- ・実際の心音や呼吸音が聴けて興味深かった
- ・もう少し具体的な話をゆっくりと聞きたかった。
- ・高齢者とお会いすることが多いので大変勉強になりました
- ・これからさらに必要となってくると思われる内容で、知識を深められた
- ・楽しく学べました。ありがとうございました。
- ・全身について幅広く知ることができました。後半の認知症とフレイルについては、論文を交えてお話しいただきましたが、もっと詳しく聞きたいと思いました。
- ・仕事では高齢者の栄養管理をすることがないので、講演を聞いて大変勉強になりました。
- ・とても興味深く拝聴いたしました。フィジカルアセスメントについて理解が深まりました。

特に、CDを臭いで疑うことができるとは驚きでした。吉田先生のご講演は強く印象づけられ、分かりやすいので次の機会も楽しみにしています。

- ・問診や視診等で確認できるポイントが分かって勉強になりました。
- ・吉田先生の人柄が好印象な為、毎回参加しています。内容5割。
- ・大変わかり易かったです。今回聞けなかった部分を別の機会でお聞きしたいです。
- ・タイトルではあまり興味を引く感じでは無いと思い聴講始めたが、講師の魅力と知識の深さに圧倒され、あっという間の時間を過ごした。
- ・内容はとても興味深いものでしたが、福祉の業界で、すでにフレイルの状態の方が8割以上ではないかと思われる環境で仕事をしているため、今の状態から入居者の栄養状態や身体状況を劇的に上げることは難しいなと思いながら勉強させていただきました。最後の方のGLIMのお話も、もっと細かくお聞きしたかったです。時間が足りなくなって残念でした。
- ・終盤の内容を別の機会に詳しくお聞きしたいです。
- ・シスタチンCを用いた腎機能、筋肉量の評価が興味深かったです。アナモレリンのお話もお聞きしたかったです。
- ・素敵な先生でした。後半の内容をゆっくりお聞きしたかったです。書籍も拝見したいと思います。
- ・楽しく勉強することが出来ました。
- ・聴診や触診をする機会がないので勉強になったが聴診の音声の聞き取りは難しく違いがよく分からなかった。書籍の紹介がいくつかあったので読んでみようと思った。
- ・実際に使用する手技はあまりないと思いますが、見方、考え方が分かって勉強になりました。ビタミンDの話もとても興味深いと感じました。終止楽しい講義でした。
- ・フィジカルアセスメントのポイントはわかりやすかったが、聴診音などはもう少し参考例が多いとよかった。最後が駆け足になってしまったのは残念。
- ・訪問して栄養相談をするときに事前に渡される情報以外でもその方自身から得られる情報が多いと実感した
- ・フィジカルアセスメントについての話を聞くことはあまりなかったので、とても興味深く視聴しました。
- ・吉田先生の軽快な語り口で楽しく学ぶことができました。
- ・フィジカルアセスメントを理解し易く解説していただき大変参考になりました。
- ・患者や症例を想像しながら、アセスメント方法が理解できた。
- ・普段、栄養指導をする際、受講者さんの全体を見ることは無く食事内容ばかりを見てお話をしてきたが、亜鉛不足、貧血などは、皮膚や爪の状態でもわかる場合もあり、また、顔色、皮膚のハリなどから、生活全体の情報を感じ取る事は大切だと思いました。また、地中海式ダイエットの有効性、ビタミンD不足問題点、便秘と認知症の関係、口臭と認知症の関係など、思いもよらないリスクについても知ることが出来、大変勉強になりました。
- ・GLIMについてもっと詳しくご講義いただけるとうれしかったです。
- ・新しい情報もあり、良かったです
- ・勉強不足で、難しかった

- ・楽しく勉強できました。
- ・愉快的な先生で楽しく受講出来ました。色々な角度から、アセスメントが出来ること、改めて学ぶことが出来ました。
- ・とても分かりやすかった
- ・フィジカルアセスメントについては、カルテを見る際その他職種記載部を理解するためには欠かせない点ですし、『患者に話したくなる「たんぱく質」のすべて』拝見し、自分の引き出しを増やしたいと思います。栄養士も同じように理解して適切な表現で記録を残すことが通常のこととなるように、と意識している点でしたので改めて学びなおせてよかったです。勤務先では腎臓内科の栄養指導を多く担当しており、ずーっと食事聴取からの算出量（蛋白シスタチンCを用いた推定摂取量算出を試みていくと話があったところでしたので、前のめりで拝聴いたしました。低栄養が生活習慣病と繋がり認知症の入り口にもなり、改めて「栄養」分野は裾野が広いなと感じました。
- ・明るい話し方で、聞いていて楽しく勉強できました。
- ・栄養士ではなかなか判断がしにくい身体所見について詳しく説明していただき、とても勉強になりました。
- ・楽しく学ぶことができました。
- ・後半GLIMの部分が速足になってしまったのが残念。
- ・筋肉量の計算方法を教えていただき大変ためになりました
- ・問診、視診の詳細が知れてよかった
- ・振り返りのような基礎的な内容から発展的な内容まで盛り込まれており、大変興味深かったです。
- ・実際のエコー等、具体的でとてもわかりやすかった
- ・普段なかなか勉強できないアセスメント方法を勉強できてよかった。
- ・目の前の人の"いつも"の状態を分かるように普段の関わりが重要だと感じた。爪や皮膚状態など侵襲せずに観察でわかるサインを多く知ることができた。
- ・吉田先生の軽快な語りで1時間半があっという間でした。内容も大変わかりやすく、ご利用者のアセスメントで活用したいと思いました。
- ・もう少し詳しくフィジカルアセスメントについて聞きたかったです。
- ・フィジカルアセスメントの確認内容がわかりやすかったです。また、令和6年の報酬改定より高齢者の低栄養について重きを置くようになりました。アルブミン値やBMIだけでなく骨格筋量の評価も重要であり、eGFRより算出する方法はとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・医師の視点からの話のため難しかった。自分の業務に反映できることを探しながら聞いた。
- ・内容がまとまっておりわかりやすかった。
- ・吉田先生の本を読みたいと感じました。
- ・フィジカルアセスメントの内容についてよく理解できました。また、ビタミンDの摂取がたんぱく質の合成と関連していることを学びました。吉田先生の本にも興味を持ちました。
- ・最後が詳しく聞けず残念でした
- ・雑談が少し邪魔と感じた

- ・フレイルやサルコペニアに対する知識を得られた研修であり、とても有意義であった。

○今後希望する研修会内容について

- ・頸部聴診法
- ・GLIM基準について（6人）
- ・再度、吉田貞夫先生の講演をお願いします。
- ・後半で講演された先生の内容、低栄養診断、認知症とフレイル予防など教えて欲しいので、また、吉田先生の講義をお願いしたい。
- ・今回の講義続編をもう一度ご講義いただきたい。今回の講義の後半の部分をより深く学びたいです。
- ・吉田先生でフレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームなど高齢者の栄養について聞きたい。
- ・給食の衛生管理
- ・高齢者関連
- ・生活習慣病、高齢者の糖尿病栄養指導
- ・認知症予防
- ・認知症とフレイル、周術期の栄養管理
- ・症例を交えた認知症＋各疾患の対応方法
- ・経口摂取を中止するタイミング、看取りに移行するタイミング
- ・脂質代謝について
- ・最新の離乳食など乳児について
- ・ゆるやかな糖質制限のすすめについて
- ・栄養アセスメントのポイント
- ・栄養士に役立つビジネスマナー
- ・業務に生かせる研修
- ・内容ではないが、配信期間をもう少し伸ばして欲しい。せめて10日間、土日が2回ある程度に常勤で勤務しており、家族の介護もあるため、タイミングによってはゆっくり受けている余裕がない。
- ・フィジカルアセスメントについて、また研修があるとよいと思いました。
- ・COPDについて
- ・最新の補助食品情報について
- ・適切な栄養補助食品の選び方
- ・医療統計、臨床研究を行う上で知っておきたい統計学の基本
- ・学童期メインのスポーツ栄養・身体をつくる栄養の取り方(新潟アルビレックスや野球強豪高校などの専属校などの専属栄養士がいたら聞いてみたい)
- ・たんぱく質と骨格筋量の関係。活動量が低下している高齢者の適正エネルギー量の算出方法について。

- ・車いす高齢者や寝たきりの高齢者のエネルギー消費量や、身体計測についてなど
- ・嚥下調整食レシピ
- ・嚥下調整食について

○「**日本栄養治療学会 九州支部学術集会**」のポスターについて

- ・ポスター1が良い 43人
- ・ポスター2が良い 52人
- ・無回答 3人